

2008年度 MAIKEN医療支援活動報告 担当：三浦左千夫

MAIKEN 独自の活動としては、川崎ブラジル交流フェスタ（9月20日～21日）慶應大学医学部 IMA国際医学研究会32次の学生と共に、在日ブラジル人のシャーガス感染・発症の現状をパネルにて発表展示を行った。

その結果、その場ではアンケート記入を受付け、慶應の研究室を訪ねてこられ、採血検診を受けた者が1名いた。

12月6日にはAMDA（国境なき医師団）主催、教育講演にて、在日ラテンアメリカ人シャーガス病の現状と題して日系ラテンアメリカ人医療通訳関係者を対象に講演を行った。

2008年12月28日、2009年1月11日には、滋賀県湖南市梅影町デンヨー社派遣従業員の忘年会においてシャーガス病検診啓発講演及び採血検査を行った。びわ湖国際医療フォーラム井田医師、公立甲賀病院の協力を得て行った。

2009年2月22日には群馬県伊勢崎市無宿失業ブラジル人食料支援としてMAIKENより10,000円の食料、米、フェイジョン(豆)、オイル、ニンニク、塩などを届けると同時に、NPO-SABJAと共催でシャーガス検診呼びかけを行った。

医療支援活動の中心は、献血輸血による感染の可能性があるシャーガス病慢性期患者の検索に重点を置き、東日本地域でNPO-SABJAと共催で医療相談採血検査を行っている。

今後は精神衛生に関わる相談、一般内科相談にも応じられるように、日系医学研修生の協力組織を確保してゆきたい。